

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.2 2011年1月31日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

日立ハイテク、コンピュネティクス社 HD 対応ビデオ会議多地点接続装置の国内販売開始

株式会社日立ハイテクノロジーズ(東京都港区)は、コンピュネティクス社(Compunetix、米国ペンシルバニア州)と総販売代理店契約を締結した。

今回の契約によって、日立ハイテクノロジーズは、コンピュネティクス社の HD 対応ビデオ会議多地点接続装置「EVERGREEN(エバークリーン)」の日本での販売を開始する。また、EVERGREENにつなげて活用できるPC対応のビデオ会議ソフトウェア「STix(ステックス)」の提供も開始する。

EVERGREEN シリーズでは、3U の 2 スロットモデル「EVERGREEN Cedar(シーダー)」、5U の 6 スロットモデル「EVERGREEN Cypress(サイプレス)」、13U の 14 スロットモデル「EVERGREEN14 Sequoia(セコイア)」の 3 機種 14 モデルを提供する。(モデル以外のポート構成も可能。)

「通信キャリアからエンタープライズ、そして小規模から大規模に対応した幅広いニーズに対応する。」(コンピュネティクス社)

映像コーデックは、H.264 の他、H.261 や H.263 などに対応。また解像度は、720p、4CIF、CIF に対応する。機能としては、トランスコーディング、ダイヤルイン会議開催、画面分割、異速度・異プロトコル接続、H.239 デュアルストリーム、暗号化(H.235 AES、5月対応予定)の他、Web ベースの会議管理やカード毎の独立したネットワークポートに対応している。

HD 解像度での最大ポート数については、Cedar が 15 ポート、Cypress が 45 ポート、Sequoia が 90 ポートとなっている。

一方、SD(4CIF)解像度での最大ポート数は、さきほどの HD ポート数の倍になる仕様となっているが、Cedar に関

しては、31 ポートになっている。また、CIF 解像度の場合、さらに最大ポート数は増加する。



製品写真

(上) EVERGREEN Cedar (日立ハイテク、Compunetix 資料)



(中) EVERGREEN Cypress (日立ハイテク、Compunetix 資料)



(下) EVERGREEN Sequoia (日立ハイテク、Compunetix 資料)

EVERGREEN の特長のひとつは、ファイバーリンク(5月対応予定)。このファイバーリンクを使用して最大5台までの EVERGREEN を相互に接続すると、システムのリソースを拡張することが出来る。これによって、大規模な HD ビデオ会議インフラ構築を可能する。たとえ

ば、5 台の Sequoia をファイバーリンクした場合、HD 接続であれば、最大 450 ポートまで、さらに、CIF 解像度では、3,000 ポートまで搭載可能だ。

その他、ATCA(Advanced Telecommunication Computing Architecture)といった通信プラットフォーム向け標準規格に

準拠。接続カード、シャーシ、電源の冗長化、複数障害発生時での安定稼働制御機能などに対応している。さらには、カスタムコントロール開発のための API も用意している。

なお、EVERGREEN は、日立ハイテクノロジーズ独自開発のビデオ会議システム運用管理ツール「EZ 会議」に対応している。EZ 会議では、即時会議(参加端末を選んで直ぐに会議開始)と予約会議が行える。機能としては、会議の予約(日時や参加端末の設定)、端末設置拠点の管理、会議開催、利用ログ取得などがあり、Web ブラウザ環境で、EVERGREEN を簡単に操作できるという。

日立ハイテクノロジーズは、HTVC ハイテクビジョンテクノセンターによる万全なユーザサポート体制を整えるなど、これまでライフサイズ製やタンバーク製のビデオ会議システムを積極的に国内に販売してきたが、EVERGREEN を同社のコミュニケーションソリューション「ハイテクビジョン」の中核に据えることで、ビデオ会議、音声会議関係製品の販売やサービスの提供、さらには、コンサルティング、保守・サポートまで一貫したワンストップソリューションをさらに強化する。

「昨今ネットワークや端末は多様化している。ネットワークにおいては、従来の ISDN や IP ネットワークの他、今後 NGN の動きもある。他方、端末に関しても、Android や iPhone/iPad などスマートフォンも多数市場に出て来ている。そういった中で、EVERGREEN は、従来のビデオ会議端末同士の接続に留まらず、さまざまなネットワークや端末を相互に接続する要になると考えている。」(日立ハイテクノロジーズ)

コンピュネティクス社は、EVERGREEN の他、「Summit/Sonexis」などの音声会議多地点接続装置なども開発・販売している。さらには子会社であるコーラスコール(Chorus Call 社)を通して、音声・ビデオ・データ会議サービスを米国やオーストラリア、ブラジル、ドイツ、インドなど 10 カ国で展開する。会議サービスでは、多地点接続の他、会議運営、録画などの付加機能サービスを提供しており、日立ハイテクノロジーズはこれらの分野でもコンピュネティクス

と連携し展開を進める方針という。

コンピュネティクス社は、1967 年設立。チップの開発から製品販売まで、いわゆる垂直統合といったビジネスモデルをベースに事業を展開している。コーラスコール社も含めた同社の 2010 年の売上は、約 1 億ドル。負債はゼロ。売上の 20% を R&D に投入しているという。また、同社は、非公開企業だが、社員持株会社が全体の 42%の株式を所有している。社員の定着率も高く、10 年から 25 年の長期勤務者がほとんどだという。社員数は、コンピュネティクス社に約 500 名、コーラスコール社に約 150 名が勤務している。

企業設立以来、連邦政府や海軍、あるいは NASA 向けのコミュニケーションシステムなど政府機関向けソリューションを多数開発してきた。たとえば、NASA 向けでは、4,000 ポートを搭載した音声会議多地点接続装置の納入実績がある。米国政府系のシステム仕様は、システム信頼性やセキュリティなど非常に高度な要求がされるという。

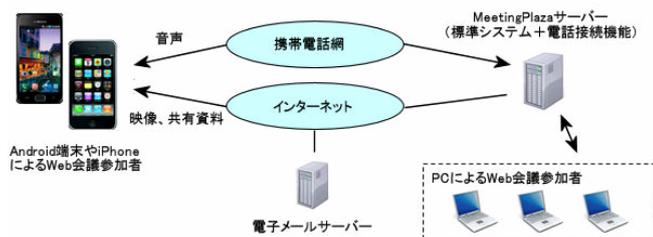
「当時では、音声多地点接続を実現する方法として、アナログミキサーシステムが一般的で、しかも小規模なシステムが一般的だったが、4,000 ポートもの大規模システムは野心的なチャレンジだった。」(コンピュネティクス社)

NASA でのプロジェクト以後、同社では、企業向けにも事業を拡大し、海外の大手通信キャリアだけでなく、世界各国の企業における採用実績も積み重ね、今日に至る。「コラボレーション市場は、近年特に大きく成長している。当社は、EVERGREEN を新たに市場投入することで、市場における当社の存在感をさらに高めたいと考えている。今回の日立ハイテクノロジーズとの提携は両社にとってシナジー効果があり、長期に渡る関係を期待している。」(コンピュネティクス社)

NTT アイティの Web 会議、スマートフォンに対応

NTT アイティ株式会社(神奈川県横浜市)は、同社で提供している Web 会議システム「MeetingPlaza(ミーティングプラザ)」の利用端末をスマートフォンにも拡大したと発表。2010 年 1 月 20 日より提供開始。(2010 年 12 月 21 日)

MeetingPlaza は、Web 会議システムとしての性能を向上させる一方、H.323 ゲートウェイを開発してテレビ会議システムや固定電話、携帯電話との接続を図るなど、他システムとの相互接続や利用端末の拡大にも力を入れてきた。今回その取り組みをさらに進め、MeetingPlaza に、Android 端末や iPhone などのスマートフォンでも接続可能とする技術を開発した。



システム概要図 (NTT アイティ 資料)



スマートフォン会議画面例 (NTT アイティ 資料)

スマートフォンによる Web 会議参加者は、携帯電話網を通して音声通話を行い、Web ブラウザ・インターネットを使用して他の Web 会議参加者映像を表示するとともに、電子メールを利用して共有資料を取得することができる。

利用手順としては、まず、主催者が会議を予約し、共有する資料(PDF ファイル)を参加者へメール送信。それに対して、スマートフォン側は、会議開催通知と共有資料を電子メールで受信する。そして、会議が始まる時に、会議開催通知メールから電話発信、さらには、スマートフォン付属の Web ブラウザを起動して参加者映像を表示、共有資料を PDF 閲覧ソフトで表示する。

このスマートフォン対応は、既に MeetingPlaza ASP サー

ビスを利用中のユーザに対しては、標準サービスとして提供される。一方、MeetingPlaza ライセンス製品を新たに購入する場合は、H.323 ゲートウェイオプションとして提供する。ただし、すでに H.323 ゲートウェイを購入済みでサポート契約中の場合は、標準のバージョンアップとして提供する。

上記いずれの場合でも、スマートフォン自体の購入費用、スマートフォンの通話料やデータ通信料は、別途ユーザ負担になる。また、ライセンス購入に合わせて導入する場合は、別途市販の電話ゲートウェイの購入が必要となるが、ASP サービスでは標準提供されている。

NTT アイティ、新バージョン「MeetingPlaza V6.0」を発表、HD にも対応

NTT アイティ株式会社(神奈川県横浜市)は、同社が提供する Web 会議システムの新しいバージョン「MeetingPlaza V6.0」を開発し、SaaS/ASP サービスを 2 月上旬から提供開始、パッケージ(システム販売)3 月から開始すると発表。(2011 年 1 月 12 日)



MeetingPlaza V6.0 の HD 画面表示例 (NTT アイティ 資料)

MeetingPlaza V6.0 の特長は以下の通り。

最大 1280 x 1024 画素までの HD サイズの映像表示が可能になった。ソフトウェアベースで HD 映像を利用可能にするため新たに独自の符号化・映像処理の技術を開発した。これまでは、VGA(640x480)サイズの顔映像表示までのみ対応していた。この HD 機能は、SaaS/ASP サービスでは、標準機能

として利用できるが、パッケージ販売では、オプション機能となる。

会議画面や予約画面などのユーザインターフェイスを大幅にリニューアルした。よりシンプルでユーザフレンドリーな操作性の改善・向上を図った。

その他、WindowsMediaPlayerでの同期再生表示、Web共有閲覧モードでの描画アノテーション、SSL通信機能の強化、管理者権限が不要なインストール、通信接続性の改善、音声品質の改良などが今回の新しいバージョンに含まれている。

MeetingPlazaは、SaaS/ASPサービスとシステム販売で提供されている。ASPサービスでは、月額2,500円の従量制プラン(フレックス2)から定額制プランまで提供している。一方で、システム導入では、基本パッケージライセンス(最大同時接続16端末)が140万円から、加えてHD表示オプションは、30万円から、その他、システム規模対応パッケージ、各種機能オプションなどを用意している。

NTTアイティによると、2001年6月販売開始以来、サービスとライセンス販売を合わせたMeetingPlazaの国内での導入社数は、3000社を越えるという。1会議室あたり、32地点まで(オプション機能では最大2000地点まで)の会議や、H.323ゲートウェイやコネクタによるテレビ会議専用装置との連携、スマートフォンからの会議参加などができる。

ネクストジェン、サービス提供事業者向けのクラウド型SIP相互接続サービスの提供開始

株式会社ネクストジェン(東京都千代田区)は、サービス提供事業者向けのクラウド型SIP相互接続サービスの提供を開始したと発表。(2010年12月22日)

サービス提供事業者は、ネクストジェンのクラウド型SIP相互接続サービスを利用することで、SIPサーバを始めとするネットワーク設備を自社で所有せずとも、コミュニケーションサービスを提供することができる。このため、サービス開始までの初期投資の削減や期間短縮につながり、しかも、SIPに関する専門知識や運用ノウハウも不要というメリットが

ある。

ネクストジェンが今回サービスを開始するのは、サービス提供事業者がコミュニケーションサービスを提供する上でさまざまな制約があるからだという。安定したサービス提供のため、接続可能な端末が限定されたり、端末側でのアプリケーションの変更や度重なる接続検証が必要となったり、一方で、SIPサーバを自社設置する場合の初期投資や運用コストの発生、さらには、SIPに関する知識と運用ノウハウを有する技術者の配置が必要になるなどの課題がある。こういった点がサービス提供事業者にとって大きな障害となっていたという。

そういったことから、今回、クラウド型SIP相互接続サービスの提供を開始することにした。

株式会社アイ・コミュニケーション(島根県松江市)は、韓国LG-Ericsson製Android端末「Le Chien(ルシアン)」上で、インターネット経由でのテレビ電話サービスを実現するためのインフラとして採用している。このネクストジェンのSIP相互接続を利用することで、短期間でのサービス開始が可能となったという。

ニューロネット、Webボード3.0を発表

ニューロネット株式会社(東京都渋谷区)は、同社の文書共有コミュニケーション「WebBoard(Webボード)」の最新版Ver 3.0の提供を2月1日より開始すると発表。(2011年1月20日)

Webボード3.0では、以下の機能が追加された。(1)ドキュメント(パワーポイントなど)アップロード自動展開、(2)遠隔複数拠点での編集状態リアルタイム表示、(3)図形描画。

Webボードは、Web会議でリアルタイムに、あるいはメールのように時間をおきながら非同期で文書を共有し、PCの中のデータだけでなくYoutubeやGoogleMapsのようなWeb上のデータも活用できる。そこで、今回さらに機能強化したのがWebボード3.0になるという。

一般的には、Web会議の文書共有を行う手段としてホワイトボード機能が使用されるが、それに対して、同社のWeb会議システム「SaaSBoard(サーズボード)」は、ホワイトボードを

html で表現し、従来の文字入力、手書き入力、そして画像の貼付けなどに加え、Web 上のデータ(html、XML、java)をホワイトボード上に展開でき、複数遠隔拠点でそれらを編集することができるソリューションを SaaS ベースの Web ボードとして提供してきた。

今回の Web ボード 3.0 では、従来の Web ボード機能に加え、情報処理推進機構 (IPA) の「未踏 IT 人材発掘・育成事業」の「動的コンテンツの開発を可能とする Web アプリケーション」(久保田秀和氏)の開発成果を取り込んだ。

「Web サイト製作、CAD を用いた設計打合せ、服飾デザインやグラフィックデザインなどのイメージを用いた打合せなどが、複数拠点で手軽に出来るようになる。」(ニューロネット)という。

SaaSBoard は、経費削減や時間の有効活用を通じた生産性向上、危機管理などを検討する企業への展開を行ってきたが、今回 Web ボード 3.0 を搭載した SaaSBoard を感性市場向けとして、デザイン市場、教育市場に販売を展開していくという。

ITX、バイキューブの ASP/SaaS 型 Web 会議販売開始



MORA Video Conference by V-CUBE (ITX 資料)

ITX 株式会社(東京都港区)は、株式会社バイキューブが展開する「V-CUBE」を「MORA Video Conference by V-CUBE」として1月17日より販売開始する。(2011年1月17日)

MORA Video Conference by V-CUBE は、インターネット環境があればどこからでも接続することのできる ASP/SaaS 型の Web 会議サービスの Web 会議サービス。Web 会議開催の「ミーティング」、1対多の形式に対応し大規模配信が可能な「セミナー」、そして、コミュニケーションツール「セールス&サポート」の3種類を提供する。

またオプションでは、iPhone & Android OS のスマートフォンからも同時に最大5回線まで接続することができるサービスも提供する。

初期費用は、45,000 円(税抜き)。月額費用には、3つのプランを提供(同時接続数10拠点)。「トライアル」は、月額基本料 9,900 円、無料利用時間が0分、追加料金が190 円/分。「エントリー」は、月額基本料 44,900 円、無料利用時間が1200 分、追加料金が25 円/分。「スタンダード」は、月額基本料 79,900 円、無料利用時間が無制限、追加料金は無し。

日本 HP、SaaS 型 Web オンライン会議システムを発表

日本ヒューレット・パッカード株式会社(東京都千代田区)は、SaaS 型 Web オンライン会議システム「HP Virtual Rooms(HP バーチャルルーム)」を発表。3月1日から販売開始する。(1月18日)

HP Virtual Rooms は、SaaS 型でサービスとして提供されるため、ユーザは特別な設備を用意することなく、インターネット接続環境と Web ブラウザがあれば、オンライン上でのミーティングや顧客へのブリーフィング、イベントなどを簡単に開催できる点が特長。

日本ヒューレット・パッカードによると、すでに全世界の HP 従業員約35万人が利用している実績のあるコミュニケーションサービスであるという。

機能としては、ビデオ(Webカメラ)、音声(VoIP)に標準対応し、アプリケーション共有、デスクトップ(画面全体もしくはその画面の中の特定領域)共有、ホワイトボード&編集ツール、プライベート&グループチャット、アンケートツール、質問ツールなどを提供している。加えて、セキュリティについて

は、256 ビット SSL AES 暗号化も提供される。

利用料金については、登録ユーザ数ではなく、同時使用ユーザ数により課金する方式を取る。そのため、たとえば、1000 人の従業員すべてをユーザ登録しても、課金されるのは、同時使用の 100 ユーザ分のライセンス費用のみとなる。

費用については、プレスリリースによると、26 ユーザ年額 560,196 円(税込み)。以降ユーザ数に応じた価格が設定されている。なお、この HP Virtual Rooms 利用にあたっては、1 人あたり 10 ルームまで作成でき、1 ルームあたり 100MB のコンテンツを蓄積できるようになっている。

サポートについては、日本語対応の 24 時間電話サポートが提供される。ただし、日本語には逐語訳での対応となる。

製品・サービス動向-海外

Mirial 社、iOS 向け SIP/H.323 ビデオ会議クライアントソフトウェアを発表

イタリアの Mirial 社は、アップル社 iOS デバイス向けの SIP/H.323 ビデオ会議クライアントソフトウェアを発表した。(2011 年 1 月 13 日)

「iPhone4」、「iPad Touch 4th gen」向けのソフトウェアは発表同日にリリース。また、「iPhone 3GS」と「iPad」向けは、数週間後にリリースの予定となっている。

クライアントソフトは、Wi-Fi、3G および 4G ネットワークに対応しており、iPhone ユーザが、iPhone、iPod、そして Android デバイスにコールすることを可能にする。端末としては、サムスン社の「Samsung Galaxy Tab」の他、Windows や Mac のパソコン、そして、H.323 のビデオ会議システムとの通信が可能となっている。

iOS への対応の理由として、同社によると、Android デバイスの急速な市場拡大にもかかわらず、依然と 28.6%の北米市場をおさえているためとしている。iOS 対応により、同社は、Windows や Mac、Android そして今回の iOS と主要な OS に対応したクライアントソフトウェアを提供することに

なった。

ビジネス動向-国内

アセットプラスパートナー、SOBA プロジェクトの Web 会議 SOBAmieruka の取扱い開始

アセットプラスパートナー(神奈川県川崎市)は、株式会社 SOBA プロジェクト(京都府京都市)が開発した、P2P 型 Web 会議システム「SOBA mieruka(ソバーミエルカ)」の取扱いを開始したと発表。(1 月 5 日)

アセットプラスパートナーは、コンピューターソフトウェアの開発や販売、IT や製造業関連のビジネスマッチング、企業業務支援、人材ビジネス・警備業関連等のエクスプレスシリーズ代理店などを行う。2010 年 6 月 19 日設立。

SOBAmieruka は、ASP で利用するタイプと、サーバを導入するタイプの 2 つから提供されている。ASP 型では、初期費用無料、月額 26,250 円/5 ユーザパック、会議室(無制限)、VPN モード。一方、サーバ導入タイプは、基本構成が 20 ユーザ ID、セッション作成は無制限、システム保守・サポート(1 年間)、ユーザサポート(1 年間)。

アセットプラスパートナーでは、オンラインやオンサイトのデモや体験版を提供している。

ビジネス動向-海外

アバイア社、音声会議大手のスウェーデンコンフテル社の買収を発表

米アバイア社は、スウェーデンのコンフテル社(Konftel)の買収を発表。(2011 年 1 月 4 日)

1 月 3 日の為替レートによる換算額で、買収金額は、1500 万米ドル。コンフテル社は、スウェーデン企業。会議室からオーディトリウムなどの講堂など向けの音声会議システムの各種製品を販売している。端末製品は、高品質な音質を実現するという「OmniSound(オムニサウンド)」技術などを特長とする。

コンフテル社の買収は、アバイア社のユニファイドコミュニケーション戦略の観点から合致しており、音声会議端末にお

いてデスクトップから会議室向けまでの製品ラインナップの拡充を図る狙いがある。

今回の買収によって、コンテル社は、子会社としてアバイア社の傘下にはいる。

Salesforce.com 社、Web 会議ベンチャー Dimdim 社を買収

Salesforce.com 社は、Web 会議ベンチャーの Dimdim 社を買収したと発表。(2011 年 1 月 6 日)

買収金額は、3100 万米ドル。今回の買収によって、Salesforce.com 社は、Dimdim 社のリアルタイムコミュニケーション技術を、「Salesforce Chatter」に組み込む考えだ。Salesforce Chatter は、Salesforce.com が昨年 6 月から提供しているクラウド型エンタープライズ・ソーシャルコラボレーション・アプリケーション&プラットフォーム。6 万社以上の顧客がすでに使用しているという。Facebook モデルを意識したアプリケーションで、企業でのスタンダードアプリケーションの地位を狙う。

Dimdim 社は、2007 年設立のベンチャー企業。クラウドにフォーカスし、企業向けアプリケーションとして、プレゼンスやメッセージング、スクリーン共有などのリアルタイムコミュニケーション技術を開発し、オンラインミーティングや、ウェビナー(オンラインセミナー)サービスを提供してきた。Draper Richards and Index Ventures 社などのベンチャーキャピタルからの投資を受けている。オフィスは、マサチューセッツ州ローウェルとインドのハイデラバードにある。

BT Conferencing、Compunetix 社との契約更新

Compunetix 社からの発表によると、英ブリテッシュテレコム社の遠隔会議サービス部門 BT Conferencing が、Compunetix 社との契約を更新した。(2011 年 1 月 6 日)

現在、BT Conferencing は、Compunetix 社の多地点音声会議システム「CONTEX Summit」を、イギリス、アメリカ、香港、日本、台湾、イタリア、インドに設置しており、CONTEX Summit を利用して、予約なしの即時会議やイベ

ント会議サービスを提供している。

BT Conferencing は、イギリスなど欧州を始め世界 70 カ国でサービス展開を行っている。拠点は、北米、EMEA(欧州・中東・アフリカ)、そしてアジアにもある。中小企業から大企業までそれぞれのニーズに合致したテーラーメイドのソリューションやサービスを提供している。

セミナー・展示会情報

< 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日時：2月2日(水)、9日(水)、16日(水)、23日(水)
*全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催
会場：NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)
主催：日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ
詳細・申込：

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

実践ソリューションフェア 2011

日時：東京：2月2日(水)から4日(金)
中部：2月9日(水)から10日(金)
大阪：2月2日(水)から4日(金)
会場：詳細確認(東京、名古屋、大阪)
主催：株式会社大塚商会
詳細・申込：

http://event.otsuka-shokai.co.jp/11/j/ad/?Cam=00=00_home_top_banner_jsf2011_ad
*遠隔会議関係のセッションや展示がある。

多地点テレビ会議システム入門セミナー

日時：2月9日(水)15:00~17:00(受付：14:30~)
会場：日立ハイテクノロジー 関西支店(大阪市淀川区)
主催：株式会社日立ハイテクノロジー
詳細・申込：

<http://www.hitachi-hitec.com/jyouhou/hitec-vision/seminar/20110209.html>

Flexible Cost Saver クラウドサービス 無料 web 会議体験セミナー開催中

日時：東京：2月9日(水)、2月17日(木)
大阪：2月10日(木)、2月16日(水)
*両日とも、15:00-17:00。
会場：FCS 東京オフィス(東京都港区)
FCS 大阪オフィス(大阪市北区)
主催：株式会社エフ・シー・エス
詳細・申込：<http://costsaver.jp/index.html>

(次ページへ続く)

会議の質とスピードが変わる 新時代の経営会議ソリューションセミナー～meetimaXVD コミュニケーションシステム x iPad で実現する最先端の経営会議スタイル～

日時:2月10日(木)14:30～17:00(受付:14:00～)
会場:コクヨ S&T 株式会社 ショールーム5F(東京都港区)
主催:コクヨ S&T 株式会社、インフォテリア株式会社
詳細・申込:

<http://www.infoteria.com/jp/event/kokuyo/index.php>

HP ユニファイドコミュニケーションセミナー ～PBX、TV 会議 その先のソリューションとは?～

日時:2月15日(火)14:30～16:50(受付:14:00)
会場:青山ダイヤモンドホール(東京都港区北青山)
主催:日本ビューレット・パッカード株式会社

協賛:日本アバイア株式会社、ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://h50146.www5.hp.com/events/seminars/info/seminar7.html>

次世代ユニファイド・コミュニケーション・フォーラム チーム・コラボレーションが加速するビジネス革命

日時:2月24日(木)13:00～17:05(12:30 開場) 予定
会場:ベルサール神保町 2F(東京都千代田区)

主催:日経コミュニケーション

協賛:iDeep ソリューションズ株式会社、日本 IBM 株式会社、
マイクロソフト株式会社

詳細・申込:<http://ac.nikkeibp.co.jp/ncc/uc2011/>

【iPad, iPhone 同時配信】

いままでにない臨場感! 高画質 Web 会議体験セミナー

日時:3月1日(火)
第1回 12:00～13:00
第2回 14:00～15:00

*同じ内容。いずれかの時間帯を申し込む。

会場:オンラインセミナー

主催:シスコシステムズ合同会社

コラボレーションソフトウェアグループ

詳細・申込:

http://www.webex.co.jp/jp/web-seminars/webseminar_030111.html?SourceId=hpg

*PC 以外にも、iPhone、iPad での参加可能。

< 海外 >

TeleSpan's Sixth Annual Future of Conferencing Workshop (有料、アーリーバード割引 2月1日まで)

日時:2011年3月17日-18日
会場:Palace Station(米国ラスベガス)
主催:TeleSpan Publishing Corporation
詳細・申込:

<http://www.telespan.com/workshop/index.html>

平成 23 年新春対談



VTV ジャパン 代表 栢野 正典 氏と、CNAレポート・ジャパンの橋本とで、平成 23 年新春対談「ビジュアルコミュニケーションの今」の新春対談をさせていただきました。よろしければ、ご覧いただければ有り難いです。

<http://www.vtv.co.jp/intro/taidan/201101.html>

海外の掲示板

海外の遠隔会議関連の掲示板です。まだまだ欧米には多数あるようですが、以下私がよく参照する結構活発な掲示板です。日本人はほとんどみかけませんので、参加してみたいかがでしょうか。

Wainhouse Discussion Forums

<http://www.wainhouse.com/forums/>

VTCTALK Videoconferencing Forum

<http://www.vtctalk.com/>

Telepresence forum

<http://www.telepresenceforum.com/>

また、LinkedIn (<http://www.linkedin.com>) にも、テレプレゼンスや Web 会議など数十以上のフォーラムがあります。LinkedIn ではグループと呼んでいますが、CNAR 橋本もいくつか参加していますが、世界各国の人達との意見交換など結構情報収集になります。ちなみに、CNAR としても LinkedIn にグループを開設しています。

編集後記

今回もご覧いただきありがとうございます。

また次回もよろしくお願い致します。

CNA レポート・ジャパン 代表 橋本 啓介